

別 添

正 誤 表

記載内容を次のとおり変更します。

対象	訂正前	訂正後																																																																																														
入札公告（説明書）	<div>技術評価を行うため入札者に提出を求める技術審査に係る評価項目、評価基準及び配点は次のとおりとする。</div> <table><tr><th colspan="2">技術提案評価型</th><th>技術評価点(満点)</th><th>30点</th></tr><tr><th colspan="2">評価項目</th><th>評価点</th><th>配点</th></tr><tr><td rowspan="3">性能・機能等</td><td>【提案1】 橋脚のコンクリート金立て特施におけるコンクリート養生時期1の品質確保に関する技術（令和6年4月）を2歳生に関する内容</td><td>10.0点</td><td rowspan="3">30点</td></tr><tr><td>【提案2】 脱法廃棄物へのアンカー等の取付による脱法廃棄物の取付防止に関する事項</td><td>5.0点</td></tr><tr><td>【提案3】 設計図書表裏面内装面に示す下部（工事現場、点検場）の設置、撤去時における作業員の歩行対策及び防塵材の落下防止対策に関する留意点と対応策</td><td>10.0点</td></tr><tr><td>安全対策</td><td>【提案4】 本取付工のジャッキアップ時における安全対策に関する留意点と対応策</td><td>5.0点</td><td></td></tr></table> <div>評価基準</div> <p>評価は、技術提案書に各評価者が下表の評価基準に基づき行い（該当及び評価点の付与）、各評価者の評定点の和を評価者数で除した値をその技術提案の評定点とする。（小数第4位以下は四捨五入）</p> <table><tr><th colspan="3">（1）技術提案書内</th></tr><tr><th>評価</th><th>評価基準</th><th>評価点</th></tr><tr><td>優</td><td>内容が具体的に着目点に優れ、かつ重要な留意が期待できる優れた提案である</td><td>10.0点</td></tr><tr><td>良上</td><td>優と良の中間の提案である</td><td>7.5点</td></tr><tr><td>良</td><td>内容が具体的に留意が期待できる優れた提案である</td><td>5.0点</td></tr><tr><td>良下</td><td>良と可の中間の提案である</td><td>2.5点</td></tr><tr><td>可（評価可）</td><td>内容が標準案と同程度であり留意が期待できない提案である</td><td>0点</td></tr><tr><td>可（評価無）</td><td>内容が標準案と同程度であり留意が期待できない提案である</td><td>0点</td></tr><tr><td>不採用</td><td>技術提案に技術書を「無」で提出し、かつ、標準案による施工の意思を示している、 不採用</td><td>0点</td></tr></table> <div>留意事項</div> <p>① 技術提案書は、A4判1頁（片面）に評価項目で求めた提案数全てを記載すること。A4判1頁（片面）を超える技術提案書が提出された場合、A4判1頁（片面）に記載されている技術提案のみで評価を行い、それ以外の技術提案は評価対象としない。</p> <p>② 技術提案に記載する文字の大きさは10ポイント以上とし、図表を含んでもよいが印刷可能なものであること。</p> <p>③ 求める評価項目に対する認識内容の全て又は一部が、次のいずれかに該当する場合は、当該技術提案は不採用とする。技術提案の全てを不採用とした場合、提出された技術提案書で存在している不採用の場合の標準案による施工の意思に類似するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none">・当該工事の設計図書に適合しない場合・当該工事に必要な内容である場合・当該工事で採用できない場合 <p>④ 記載された技術提案が評価項目で求めた提案数に満たない場合であっても、これを理由に欠格とはならず、記載された提案を対象に評価を行う。</p> <p>⑤ 設計図書において「設計図書の変更及び追加」が示されている場合、これらに関する技術提案が評価対象としない。</p> <p>⑥ 提案4は後継工事での整備を求めない。</p> <div>留意コスト負担を要する提案の取扱い</div> <p>本工事における最適なコスト負担を要する提案は、下工事の標準案に準拠する。なお、評価項目に対するより優れた提案であっても、最適なコスト負担を要する提案は、最適なコスト負担を要しない提案より優位な評価とはしない。</p> <p>⑦ 【提案1】コンクリートの打設方法</p>	技術提案評価型		技術評価点(満点)	30点	評価項目		評価点	配点	性能・機能等	【提案1】 橋脚のコンクリート金立て特施におけるコンクリート養生時期1の品質確保に関する技術（令和6年4月）を2歳生に関する内容	10.0点	30点	【提案2】 脱法廃棄物へのアンカー等の取付による脱法廃棄物の取付防止に関する事項	5.0点	【提案3】 設計図書表裏面内装面に示す下部（工事現場、点検場）の設置、撤去時における作業員の歩行対策及び防塵材の落下防止対策に関する留意点と対応策	10.0点	安全対策	【提案4】 本取付工のジャッキアップ時における安全対策に関する留意点と対応策	5.0点		（1）技術提案書内			評価	評価基準	評価点	優	内容が具体的に着目点に優れ、かつ重要な留意が期待できる優れた提案である	10.0点	良上	優と良の中間の提案である	7.5点	良	内容が具体的に留意が期待できる優れた提案である	5.0点	良下	良と可の中間の提案である	2.5点	可（評価可）	内容が標準案と同程度であり留意が期待できない提案である	0点	可（評価無）	内容が標準案と同程度であり留意が期待できない提案である	0点	不採用	技術提案に技術書を「無」で提出し、かつ、標準案による施工の意思を示している、 不採用	0点	<div>技術評価を行うため入札者に提出を求める技術審査に係る評価項目、評価基準及び配点は次のとおりとする。</div> <table><tr><th colspan="2">技術提案評価型</th><th>技術評価点(満点)</th><th>30点</th></tr><tr><th colspan="2">評価項目</th><th>評価点</th><th>配点</th></tr><tr><td rowspan="3">性能・機能等</td><td>【提案1】 橋脚のコンクリート金立て特施におけるコンクリート養生時期1の品質確保に関する技術（令和6年4月）を2歳生に関する内容</td><td>10.0点</td><td rowspan="3">30点</td></tr><tr><td>【提案2】 脱法廃棄物へのアンカー等の取付による脱法廃棄物の取付防止に関する事項</td><td>5.0点</td></tr><tr><td>【提案3】 設計図書表裏面内装面に示す下部（工事現場、点検場）の設置、撤去時における作業員の歩行対策及び防塵材の落下防止対策に関する留意点と対応策</td><td>10.0点</td></tr><tr><td>安全対策</td><td>【提案4】 本取付工（ジャッキアップ時及びジャッキ撤去時並びに取付撤去時）における歩行対策に関する留意点と対応策</td><td>5.0点</td><td></td></tr></table> <div>評価基準</div> <p>評価は、技術提案書に各評価者が下表の評価基準に基づき行い（該当及び評価点の付与）、各評価者の評定点の和を評価者数で除した値をその技術提案の評定点とする。（小数第4位以下は四捨五入）</p> <table><tr><th colspan="3">（1）技術提案書内</th></tr><tr><th>評価</th><th>評価基準</th><th>評価点</th></tr><tr><td>優</td><td>内容が具体的に着目点に優れ、かつ重要な留意が期待できる優れた提案である</td><td>10.0点</td></tr><tr><td>良上</td><td>優と良の中間の提案である</td><td>7.5点</td></tr><tr><td>良</td><td>内容が具体的に留意が期待できる優れた提案である</td><td>5.0点</td></tr><tr><td>良下</td><td>良と可の中間の提案である</td><td>2.5点</td></tr><tr><td>可（評価可）</td><td>内容が標準案と同程度であり留意が期待できない提案である</td><td>0点</td></tr><tr><td>可（評価無）</td><td>内容が標準案と同程度であり留意が期待できない提案である</td><td>0点</td></tr><tr><td>不採用</td><td>技術提案に技術書を「無」で提出し、かつ、標準案による施工の意思を示している、 不採用</td><td>0点</td></tr></table> <div>留意事項</div> <p>① 技術提案書は、A4判1頁（片面）に評価項目で求めた提案数全てを記載すること。A4判1頁（片面）を超える技術提案書が提出された場合、A4判1頁（片面）に記載されている技術提案のみで評価を行い、それ以外の技術提案は評価対象としない。</p> <p>② 技術提案に記載する文字の大きさは10ポイント以上とし、図表を含んでもよいが印刷可能なものであること。</p> <p>③ 求める評価項目に対する認識内容の全て又は一部が、次のいずれかに該当する場合は、当該技術提案は不採用とする。技術提案の全てを不採用とした場合、提出された技術提案書で存在している不採用の場合の標準案による施工の意思に類似するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none">・当該工事の設計図書に適合しない場合・当該工事に必要な内容である場合・当該工事で採用できない場合 <p>④ 記載された技術提案が評価項目で求めた提案数に満たない場合であっても、これを理由に欠格とはならず、記載された提案を対象に評価を行う。</p> <p>⑤ 設計図書において「設計図書の変更及び追加」が示されている場合、これらに関する技術提案が評価対象としない。</p> <p>⑥ 提案4は後継工事での整備を求めない。</p> <div>留意コスト負担を要する提案の取扱い</div> <p>本工事における最適なコスト負担を要する提案は、下工事の標準案に準拠する。なお、評価項目に対するより優れた提案であっても、最適なコスト負担を要する提案は、最適なコスト負担を要しない提案より優位な評価とはしない。</p> <p>⑦ 【提案1】コンクリートの打設方法</p>	技術提案評価型		技術評価点(満点)	30点	評価項目		評価点	配点	性能・機能等	【提案1】 橋脚のコンクリート金立て特施におけるコンクリート養生時期1の品質確保に関する技術（令和6年4月）を2歳生に関する内容	10.0点	30点	【提案2】 脱法廃棄物へのアンカー等の取付による脱法廃棄物の取付防止に関する事項	5.0点	【提案3】 設計図書表裏面内装面に示す下部（工事現場、点検場）の設置、撤去時における作業員の歩行対策及び防塵材の落下防止対策に関する留意点と対応策	10.0点	安全対策	【提案4】 本取付工（ジャッキアップ時及びジャッキ撤去時並びに取付撤去時）における歩行対策に関する留意点と対応策	5.0点		（1）技術提案書内			評価	評価基準	評価点	優	内容が具体的に着目点に優れ、かつ重要な留意が期待できる優れた提案である	10.0点	良上	優と良の中間の提案である	7.5点	良	内容が具体的に留意が期待できる優れた提案である	5.0点	良下	良と可の中間の提案である	2.5点	可（評価可）	内容が標準案と同程度であり留意が期待できない提案である	0点	可（評価無）	内容が標準案と同程度であり留意が期待できない提案である	0点	不採用	技術提案に技術書を「無」で提出し、かつ、標準案による施工の意思を示している、 不採用	0点
技術提案評価型		技術評価点(満点)	30点																																																																																													
評価項目		評価点	配点																																																																																													
性能・機能等	【提案1】 橋脚のコンクリート金立て特施におけるコンクリート養生時期1の品質確保に関する技術（令和6年4月）を2歳生に関する内容	10.0点	30点																																																																																													
	【提案2】 脱法廃棄物へのアンカー等の取付による脱法廃棄物の取付防止に関する事項	5.0点																																																																																														
	【提案3】 設計図書表裏面内装面に示す下部（工事現場、点検場）の設置、撤去時における作業員の歩行対策及び防塵材の落下防止対策に関する留意点と対応策	10.0点																																																																																														
安全対策	【提案4】 本取付工のジャッキアップ時における安全対策に関する留意点と対応策	5.0点																																																																																														
（1）技術提案書内																																																																																																
評価	評価基準	評価点																																																																																														
優	内容が具体的に着目点に優れ、かつ重要な留意が期待できる優れた提案である	10.0点																																																																																														
良上	優と良の中間の提案である	7.5点																																																																																														
良	内容が具体的に留意が期待できる優れた提案である	5.0点																																																																																														
良下	良と可の中間の提案である	2.5点																																																																																														
可（評価可）	内容が標準案と同程度であり留意が期待できない提案である	0点																																																																																														
可（評価無）	内容が標準案と同程度であり留意が期待できない提案である	0点																																																																																														
不採用	技術提案に技術書を「無」で提出し、かつ、標準案による施工の意思を示している、 不採用	0点																																																																																														
技術提案評価型		技術評価点(満点)	30点																																																																																													
評価項目		評価点	配点																																																																																													
性能・機能等	【提案1】 橋脚のコンクリート金立て特施におけるコンクリート養生時期1の品質確保に関する技術（令和6年4月）を2歳生に関する内容	10.0点	30点																																																																																													
	【提案2】 脱法廃棄物へのアンカー等の取付による脱法廃棄物の取付防止に関する事項	5.0点																																																																																														
	【提案3】 設計図書表裏面内装面に示す下部（工事現場、点検場）の設置、撤去時における作業員の歩行対策及び防塵材の落下防止対策に関する留意点と対応策	10.0点																																																																																														
安全対策	【提案4】 本取付工（ジャッキアップ時及びジャッキ撤去時並びに取付撤去時）における歩行対策に関する留意点と対応策	5.0点																																																																																														
（1）技術提案書内																																																																																																
評価	評価基準	評価点																																																																																														
優	内容が具体的に着目点に優れ、かつ重要な留意が期待できる優れた提案である	10.0点																																																																																														
良上	優と良の中間の提案である	7.5点																																																																																														
良	内容が具体的に留意が期待できる優れた提案である	5.0点																																																																																														
良下	良と可の中間の提案である	2.5点																																																																																														
可（評価可）	内容が標準案と同程度であり留意が期待できない提案である	0点																																																																																														
可（評価無）	内容が標準案と同程度であり留意が期待できない提案である	0点																																																																																														
不採用	技術提案に技術書を「無」で提出し、かつ、標準案による施工の意思を示している、 不採用	0点																																																																																														

別 添

正 誤 表

記載内容を次のとおり変更します。

対象	訂正前	訂正後																																				
11_技術提案書様式_横浜横須賀道路 釜利谷第二 高架橋耐震補強工事	<table><tr><td colspan="3">■評価項目③ 割掛対象表参考内訳書に示す下部工工事用足場、吊足場の設置・撤去時における作業員の墜落対策及び資機材の落下防止対策に関する留意点と対応策</td></tr><tr><td>1. 評価項目に対する技術提案の有無</td><td>有 技術提案を行う場合に○を付すこと。</td><td>無 技術提案を行わず設計図書に示す標準案に基づく施工を行う場合に○を付すこと。</td></tr><tr><td>2. 評価項目に対する技術提案を「有」として、提出した技術提案が不採用となった場合の標準案による施工意思の有無</td><td>有 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がある場合に○を付すこと。</td><td>無 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がない場合に○を付すこと。</td></tr><tr><td colspan="3">■評価項目④ 支承取替工のジャッキアップ時における安全対策に関する留意点と対応策</td></tr><tr><td>1. 評価項目に対する技術提案の有無</td><td>有 技術提案を行う場合に○を付すこと。</td><td>無 技術提案を行わず設計図書に示す標準案に基づく施工を行う場合に○を付すこと。</td></tr><tr><td>2. 評価項目に対する技術提案を「有」として、提出した技術提案が不採用となった場合の標準案による施工意思の有無</td><td>有 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がある場合に○を付すこと。</td><td>無 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がない場合に○を付すこと。</td></tr></table> <p>以上</p>	■評価項目③ 割掛対象表参考内訳書に示す下部工工事用足場、吊足場の設置・撤去時における作業員の墜落対策及び資機材の落下防止対策に関する留意点と対応策			1. 評価項目に対する技術提案の有無	有 技術提案を行う場合に○を付すこと。	無 技術提案を行わず設計図書に示す標準案に基づく施工を行う場合に○を付すこと。	2. 評価項目に対する技術提案を「有」として、提出した技術提案が不採用となった場合の標準案による施工意思の有無	有 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がある場合に○を付すこと。	無 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がない場合に○を付すこと。	■評価項目④ 支承取替工のジャッキアップ時における安全対策に関する留意点と対応策			1. 評価項目に対する技術提案の有無	有 技術提案を行う場合に○を付すこと。	無 技術提案を行わず設計図書に示す標準案に基づく施工を行う場合に○を付すこと。	2. 評価項目に対する技術提案を「有」として、提出した技術提案が不採用となった場合の標準案による施工意思の有無	有 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がある場合に○を付すこと。	無 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がない場合に○を付すこと。	<table><tr><td colspan="3">■評価項目③ 割掛対象表参考内訳書に示す下部工工事用足場、吊足場の設置・撤去時における作業員の墜落対策及び資機材の落下防止対策に関する留意点と対応策</td></tr><tr><td>1. 評価項目に対する技術提案の有無</td><td>有 技術提案を行う場合に○を付すこと。</td><td>無 技術提案を行わず設計図書に示す標準案に基づく施工を行う場合に○を付すこと。</td></tr><tr><td>2. 評価項目に対する技術提案を「有」として、提出した技術提案が不採用となった場合の標準案による施工意思の有無</td><td>有 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がある場合に○を付すこと。</td><td>無 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がない場合に○を付すこと。</td></tr><tr><td colspan="3">■評価項目④ 支承取替工(ジャッキ設置時及びジャッキ撤去時並びに反力受替え時)における高速道路利用者等の第三者への、安全対策に関する留意点と対応策</td></tr><tr><td>1. 評価項目に対する技術提案の有無</td><td>有 技術提案を行う場合に○を付すこと。</td><td>無 技術提案を行わず設計図書に示す標準案に基づく施工を行う場合に○を付すこと。</td></tr><tr><td>2. 評価項目に対する技術提案を「有」として、提出した技術提案が不採用となった場合の標準案による施工意思の有無</td><td>有 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がある場合に○を付すこと。</td><td>無 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がない場合に○を付すこと。</td></tr></table> <p>以上</p>	■評価項目③ 割掛対象表参考内訳書に示す下部工工事用足場、吊足場の設置・撤去時における作業員の墜落対策及び資機材の落下防止対策に関する留意点と対応策			1. 評価項目に対する技術提案の有無	有 技術提案を行う場合に○を付すこと。	無 技術提案を行わず設計図書に示す標準案に基づく施工を行う場合に○を付すこと。	2. 評価項目に対する技術提案を「有」として、提出した技術提案が不採用となった場合の標準案による施工意思の有無	有 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がある場合に○を付すこと。	無 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がない場合に○を付すこと。	■評価項目④ 支承取替工(ジャッキ設置時及びジャッキ撤去時並びに反力受替え時)における高速道路利用者等の第三者への、安全対策に関する留意点と対応策			1. 評価項目に対する技術提案の有無	有 技術提案を行う場合に○を付すこと。	無 技術提案を行わず設計図書に示す標準案に基づく施工を行う場合に○を付すこと。	2. 評価項目に対する技術提案を「有」として、提出した技術提案が不採用となった場合の標準案による施工意思の有無	有 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がある場合に○を付すこと。	無 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がない場合に○を付すこと。
■評価項目③ 割掛対象表参考内訳書に示す下部工工事用足場、吊足場の設置・撤去時における作業員の墜落対策及び資機材の落下防止対策に関する留意点と対応策																																						
1. 評価項目に対する技術提案の有無	有 技術提案を行う場合に○を付すこと。	無 技術提案を行わず設計図書に示す標準案に基づく施工を行う場合に○を付すこと。																																				
2. 評価項目に対する技術提案を「有」として、提出した技術提案が不採用となった場合の標準案による施工意思の有無	有 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がある場合に○を付すこと。	無 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がない場合に○を付すこと。																																				
■評価項目④ 支承取替工のジャッキアップ時における安全対策に関する留意点と対応策																																						
1. 評価項目に対する技術提案の有無	有 技術提案を行う場合に○を付すこと。	無 技術提案を行わず設計図書に示す標準案に基づく施工を行う場合に○を付すこと。																																				
2. 評価項目に対する技術提案を「有」として、提出した技術提案が不採用となった場合の標準案による施工意思の有無	有 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がある場合に○を付すこと。	無 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がない場合に○を付すこと。																																				
■評価項目③ 割掛対象表参考内訳書に示す下部工工事用足場、吊足場の設置・撤去時における作業員の墜落対策及び資機材の落下防止対策に関する留意点と対応策																																						
1. 評価項目に対する技術提案の有無	有 技術提案を行う場合に○を付すこと。	無 技術提案を行わず設計図書に示す標準案に基づく施工を行う場合に○を付すこと。																																				
2. 評価項目に対する技術提案を「有」として、提出した技術提案が不採用となった場合の標準案による施工意思の有無	有 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がある場合に○を付すこと。	無 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がない場合に○を付すこと。																																				
■評価項目④ 支承取替工(ジャッキ設置時及びジャッキ撤去時並びに反力受替え時)における高速道路利用者等の第三者への、安全対策に関する留意点と対応策																																						
1. 評価項目に対する技術提案の有無	有 技術提案を行う場合に○を付すこと。	無 技術提案を行わず設計図書に示す標準案に基づく施工を行う場合に○を付すこと。																																				
2. 評価項目に対する技術提案を「有」として、提出した技術提案が不採用となった場合の標準案による施工意思の有無	有 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がある場合に○を付すこと。	無 技術提案が採用されなかった場合に標準案に基づいて施工する意思がない場合に○を付すこと。																																				

別 添

正 誤 表

記載内容を次のとおり変更します。

対象	訂正前	訂正後
11_技術提案書様式_横浜横須賀道路 釜利谷第二高架橋耐震補強工事	<div>様式-提案2</div> <div>令和〇年〇月〇日</div> <div>【(改善)技術提案書】</div> <div>【改善技術提案書の提出時は「技術提案書」の記載を「改善技術提案書」と改めてください】</div> <div>会社名 〇〇 (株)</div> <div>工事名 横浜横須賀道路 釜利谷第二高架橋耐震補強工事</div> <div>評価項目① 橋脚のコンクリート巻立て補強におけるコンクリート養生時※1の品質確保に関する提案 ※1養生時とは、コンクリート施工管理要領(令和6年4月)6-2 養生に関する内容</div> <div>【技術提案】 〇〇について</div> <div>1. 着目点</div> <div>2. 提案内容 (留意点及び対応策) ※施工・安全・工程に関する計画等、採用工法・資機材等の実績・根拠等がある場合は、その内容を記載すること</div> <div>図 表</div> <div>3. 適用範囲</div> <div>4. 施工実績 〇〇工事 (工期: 発注者:)</div> <div>5. 履行確認方法</div> <div>評価項目② 既設構造物へのアンカー等の削孔による既設構造物の損傷防止に関する提案</div> <div>【技術提案】 〇〇について</div> <div>1. 着目点</div> <div>2. 提案内容 (留意点及び対応策) ※施工・安全・工程に関する計画等、採用工法・資機材等の実績・根拠等がある場合は、その内容を記載すること</div> <div>図 表</div> <div>3. 適用範囲</div> <div>4. 施工実績 〇〇工事 (工期: 発注者:)</div> <div>5. 履行確認方法</div> <div>評価項目③ 割掛対象表参考内訳書に示す下部工事用足場、吊足場の設置・撤去時における作業員の墜落対策及び資機材の落下防止対策に関する留意点と対応策</div> <div>【技術提案】 〇〇について</div> <div>1. 着目点</div> <div>2. 提案内容 (留意点及び対応策) ※施工・安全・工程に関する計画等、採用工法・資機材等の実績・根拠等がある場合は、その内容を記載すること</div> <div>図 表</div> <div>3. 適用範囲</div> <div>4. 施工実績 〇〇工事 (工期: 発注者:)</div> <div>5. 履行確認方法</div> <div>評価項目④ 支取替工のジャッキアップ時における安全対策に関する留意点と対応策</div> <div>【技術提案】 〇〇について</div> <div>1. 着目点</div> <div>2. 提案内容 (留意点及び対応策) ※施工・安全・工程に関する計画等、採用工法・資機材等の実績・根拠等がある場合は、その内容を記載すること</div> <div>図 表</div> <div>3. 適用範囲</div> <div>4. 施工実績 〇〇工事 (工期: 発注者:)</div> <div>5. 履行確認方法</div>	<div>様式-提案2</div> <div>令和〇年〇月〇日</div> <div>【(改善)技術提案書】</div> <div>【改善技術提案書の提出時は「技術提案書」の記載を「改善技術提案書」と改めてください】</div> <div>会社名 〇〇 (株)</div> <div>工事名 横浜横須賀道路 釜利谷第二高架橋耐震補強工事</div> <div>評価項目① 橋脚のコンクリート巻立て補強におけるコンクリート養生時※1の品質確保に関する提案 ※1養生時とは、コンクリート施工管理要領(令和6年4月)6-2 養生に関する内容</div> <div>【技術提案】 〇〇について</div> <div>1. 着目点</div> <div>2. 提案内容 (留意点及び対応策) ※施工・安全・工程に関する計画等、採用工法・資機材等の実績・根拠等がある場合は、その内容を記載すること</div> <div>図 表</div> <div>3. 適用範囲</div> <div>4. 施工実績 〇〇工事 (工期: 発注者:)</div> <div>5. 履行確認方法</div> <div>評価項目② 既設構造物へのアンカー等の削孔による既設構造物の損傷防止に関する提案</div> <div>【技術提案】 〇〇について</div> <div>1. 着目点</div> <div>2. 提案内容 (留意点及び対応策) ※施工・安全・工程に関する計画等、採用工法・資機材等の実績・根拠等がある場合は、その内容を記載すること</div> <div>図 表</div> <div>3. 適用範囲</div> <div>4. 施工実績 〇〇工事 (工期: 発注者:)</div> <div>5. 履行確認方法</div> <div>評価項目③ 割掛対象表参考内訳書に示す下部工事用足場、吊足場の設置・撤去時における作業員の墜落対策及び資機材の落下防止対策に関する留意点と対応策</div> <div>【技術提案】 〇〇について</div> <div>1. 着目点</div> <div>2. 提案内容 (留意点及び対応策) ※施工・安全・工程に関する計画等、採用工法・資機材等の実績・根拠等がある場合は、その内容を記載すること</div> <div>図 表</div> <div>3. 適用範囲</div> <div>4. 施工実績 〇〇工事 (工期: 発注者:)</div> <div>5. 履行確認方法</div> <div>評価項目④ 支取替工(ジャッキ設置時及びジャッキ撤去時並びに反力受替え時)における高速度路利用者等の第三者への、安全対策に関する留意点と対応策</div> <div>【技術提案】 〇〇について</div> <div>1. 着目点</div> <div>2. 提案内容 (留意点及び対応策) ※施工・安全・工程に関する計画等、採用工法・資機材等の実績・根拠等がある場合は、その内容を記載すること</div> <div>図 表</div> <div>3. 適用範囲</div> <div>4. 施工実績 〇〇工事 (工期: 発注者:)</div> <div>5. 履行確認方法</div>

様式-提案2

令和〇年〇月〇日

【(改善)技術提案書】

【改善技術提案書の提出時は「技術提案書」の記載を「改善技術提案書」と改めてください】

会社名 〇〇 (株)

工事名 横浜横須賀道路 釜利谷第二高架橋耐震補強工事

評価項目①: 橋脚のコンクリート巻立て補強におけるコンクリート養生時※1の品質確保に関する提案
※1養生時とは、コンクリート施工管理要領(令和6年4月)6-2 養生に関する内容

【技術提案】 〇〇について

1. 着目点

2. 提案内容 (留意点及び対応策)
※施工・安全・工程に関する計画等、採用工法・資機材等の実績・根拠等がある場合は、その内容を記載すること

図 表

3. 適用範囲

4. 施工実績 〇〇工事 (工期: 発注者:)

5. 履行確認方法

評価項目②: 既設構造物へのアンカー等の削孔による既設構造物の損傷防止に関する提案

【技術提案】 〇〇について

1. 着目点

2. 提案内容 (留意点及び対応策)
※施工・安全・工程に関する計画等、採用工法・資機材等の実績・根拠等がある場合は、その内容を記載すること

図 表

3. 適用範囲

4. 施工実績 〇〇工事 (工期: 発注者:)

5. 履行確認方法

評価項目③: 割掛対象表参考内訳書に示す下部工事用足場、吊足場の設置・撤去時における作業員の墜落対策及び資機材の落下防止対策に関する留意点と対応策

【技術提案】 〇〇について

1. 着目点

2. 提案内容 (留意点及び対応策)
※施工・安全・工程に関する計画等、採用工法・資機材等の実績・根拠等がある場合は、その内容を記載すること

図 表

3. 適用範囲

4. 施工実績 〇〇工事 (工期: 発注者:)

5. 履行確認方法

評価項目④: 支取替工(ジャッキ設置時及びジャッキ撤去時並びに反力受替え時)における高速度
路利用者等の第三者への、安全対策に関する留意点と対応策

【技術提案】 〇〇について

1. 着目点

2. 提案内容 (留意点及び対応策)
※施工・安全・工程に関する計画等、採用工法・資機材等の実績・根拠等がある場合は、その内容を記載すること

図 表

3. 適用範囲

4. 施工実績 〇〇工事 (工期: 発注者:)

5. 履行確認方法